

ふくのわ プロジェクト

～衣類を寄付してパラスポーツを応援しよう！～



2026年6月



産経新聞社

一着の衣類から広がる、 サステナブルな支援の輪

企業や個人から寄付された「**まだ着用可能な衣類**」を回収し、
パートナーである **リユース専門業者**へ売却。
そこで得られた**収益金**を**パラスポーツ5団体**へ寄付しています。
寄付金は、選手の遠征費や用具の購入、練習環境の整備といった**活動
経費**にダイレクトに充てられ、アスリートの挑戦を物心両面から支え
ています。

寄付先一覧 (2026年5月現在)



一般社団法人
日本パラバレーボール協会



一般社団法人
日本パラ水泳連盟



NPO法人
日本パラ・パワーリフティング連盟



一般社団法人
日本パラカヌー連盟



一般社団法人
日本知的障害者水泳連盟

2016年プロジェクト発足時からの総量

※2016～2025年度までの回収量



これまで寄付していただいた衣類

1,400トン以上



収益金合計

1,700万円以上

詳細はこちら



詳細はこちら

2016年、財政基盤がぜい弱なパラスポーツ競技団体を持続的に応援することを目的に、産経新聞社の主催事業としてスタートしました。

「今はパラスポーツ界にとってバブル。大会終了後、助成金などが減らされ、競技団体は経済的に自立をと言われても、整えた組織をいきなり縮小はできない」

東京2020開催前にパラスポーツ関係者から上がった不安の声に応えるべく、「先進国の中で衣類の再利用率が低いという日本の課題に目を向け、不要になった衣類を寄付してもらい、その収益金で応援する」というプロジェクトが誕生しました。

2016年東京都のモデル事業にも採択され、現在ではSDGs貢献の観点から、多くの企業や教育機関へと支援の輪が広がっています。

ふくのわに込めた思い

ふくのわという名前には

服の輪

福の輪

布久の
輪※

3つの願いを込めています。

※布が永くリユースされますように、という願いを込めた造語

ふくのわに寄付する、3つの方法

ふくのわBOX



都内18か所
〈 7円/kg で売却 〉

おうちでふくのわ

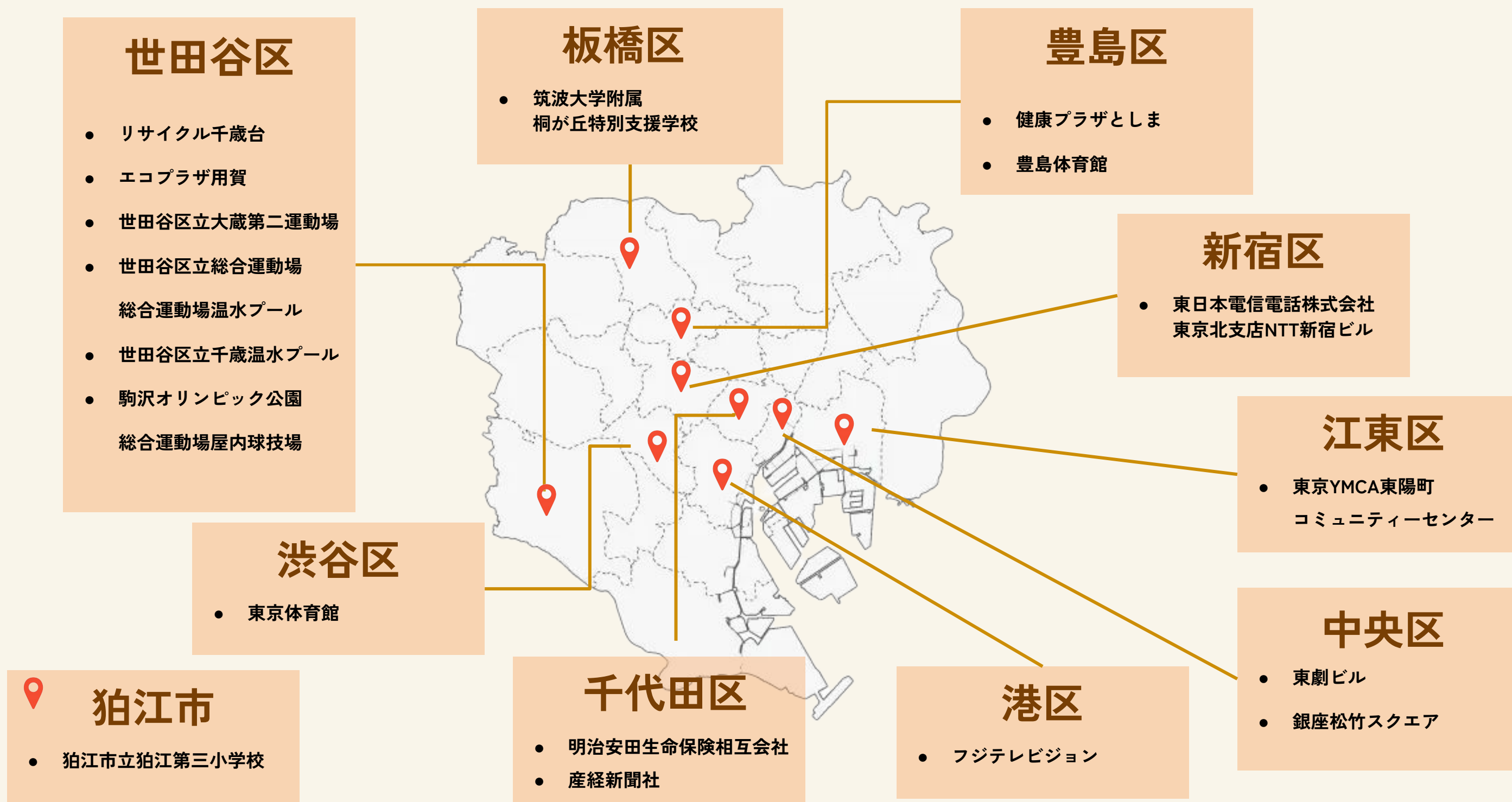


1袋:3,300円 (税・送料込)
〈 10円/kg で売却 〉

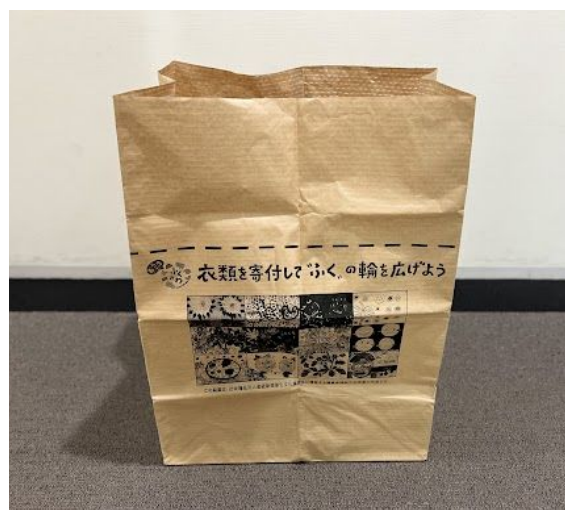
提携倉庫へ送付



原宿シカゴの倉庫に送付
〈 10円/kg で売却 〉

ボ
ッ
ク
ス
設
置
場
所

「おうちでふくのわ」は、外出が制限された2020年のコロナ禍を契機に誕生した、自宅にしながら寄付ができる宅配キットです。
「自宅からパラスポーツを応援する」という新しいライフスタイルを提案し、これまでに合計12,000個以上をご購入いただくなど、多くのサポーターに支えられた確かな実績を持つ取り組みです。



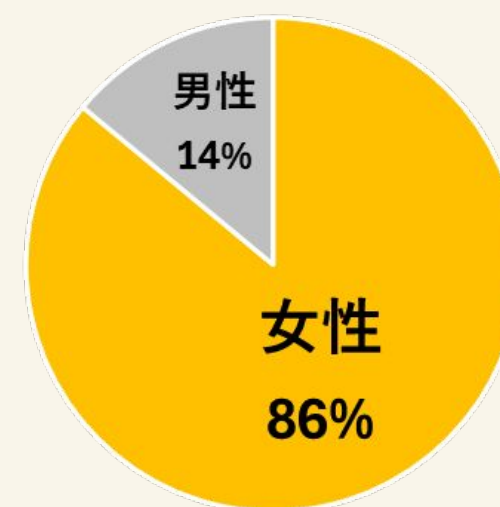
販売ページ



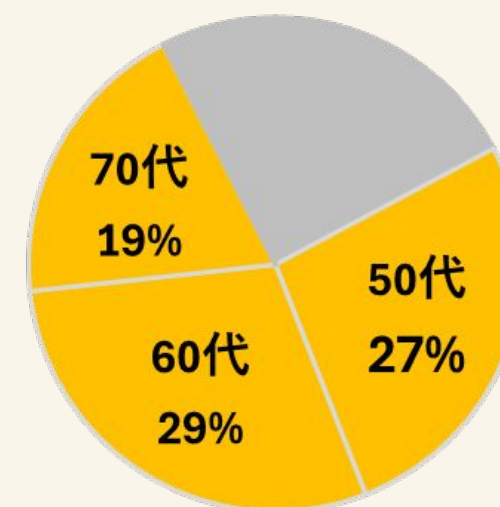
自宅から手軽にできる
パラスポーツ支援の新しいカタチ

購入者の属性

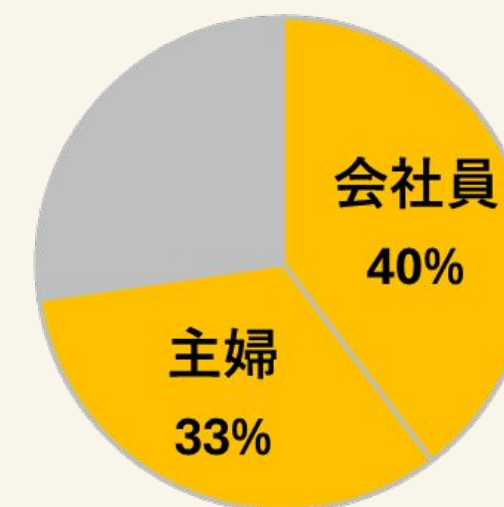
性別



年代



職業



購入者の声



女性・購入2回目

パラアスリートが身近で活躍する姿が見れる様になりましたが、もっと知名度と設備等対策に応援が必要だと感じます。ささやかな一歩が増えます様に。



女性・購入3回目

東京オリンピックのパラリンピックバスケに感動してから、いい活動だなあと思って申し込みしています。



男性・初めて購入

少しでもお役に立てれば幸いです。

衣
類
回
収
の
流
れ

説明動画

01

回収



郵送・BOXから回収

おうちでふくのわ、
BOXなどから衣類を
回収し、提携先であ
る原宿シカゴの倉庫
に集約されます。

02

国内物流拠点



軽量⇒積込

受付・点検を行い、
重量を計測。圧縮梱
包を行い、海外へ輸
出。

03

海外輸送



マレーシアへ

コンテナ船でマレー
シアへ。グローバル
展開の起点となりま
す。

04

現地仕分け



マレーシア拠点

アイテム、サイズ、
種類、カラー、柄な
どに仕分けられパッ
ケージ化。

05

世界へ届ける



15か国以上へ

パキスタン、バング
ラディシュ、タイな
ど各国の支援先に配
布、展開されます。

宅配キット
「おうちでふくのわ」



自宅にいながら手軽に寄付が
できる宅配キット「おうち
でふくのわ」の製作（キッ
トの折り込み、着払い伝票お
よび説明書の封入・梱包作
業）は、**障害者就労継続支
援B型事業所「ワークセン
ターひかわ（東京都渋谷
区）」**へ**委託**しています。本
事業を通じて障がいのある方
の就労機会の創出と自立支援
に寄与しており、パラスポー
ツ支援のみならず、地域福祉
の向上にも貢献する仕組みを
構築しています。

• • • • •

A decorative border consisting of a single row of orange squares, each with a white cross in the center, set against a white background. The squares are arranged in a repeating pattern.

今後に向けて

クローゼットに眠る服が、国内外での雇用（ワークセンターひかわ、マレーシアなど）を生み、世界各国へのリユースへ繋がり、そして国内のパラスポーツ5団体を支える大きな「追い風」になります。「ふくのわプロジェクト」は、一過性の慈善活動ではなく、企業と社会が共に持続可能な未来を創るためのプラットフォームとなることを目指します。貴社のご予算や「貴社らしさ」に合わせた柔軟なカスタマイズも承ります。

貴社が持つ事業や強みをこのプロジェクトと掛け合わせ、共に新しい価値を創出していきたいと思えます。



【問合せ先】

産経新聞社

メディアビジネス本部 メディアビジネス3部 寺尾 康佑

Email : fukunowa-pj@sankei.co.jp